

防災特集 2022 日ごろから備えて、水害から身を守ろう

問合せ先 市役所防災危機管理課(☎31-4207)

今年、日本各地で発生している水害

今年の6月末から8月にかけて、低気圧の停滞の影響を受け、全国各地で記録的な大雨となり、人的被害・住家被害が多数発生しました。

水害は事前に備えられる

大雨や台風、低気圧や前線などによる水害は、日本のどこでも発生する可能性のある災害です。しかし、地震災害と異なり、防災気象情報を事前に入手でき、早めに対策を講じて被害を軽減するなど、災害に備えることができます。

線状降水帯とは

近年、顕著な大雨が発生し、数多くの甚大な被害を与えている線状降水帯とは、発達した雨雲(積乱雲)が列をなし、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたり、強い降水を伴い、ほぼ同じ場所を通過または停滞することで作りだされる雨域のことを指します。

水害の種類

洪水

河川の流域に大雨が降ったり、春に積雪が融けたりすると河川に多量の水が流出して、護岸施設の破損や堤防を越えた水が沿岸に被害を与えます。

土砂災害

斜面が急激に崩れ落ちる崖崩れや、地層がゆっくりと滑り落ちる地滑り、溪流の土砂等が水と一緒に流れる土石流があります。

都市型水害

都市は、コンクリートの建物やアスファルトの道路で覆われ、雨水が地下に染み込みにくくなっています。側溝へ流れても排水が追いつかず、そのまま雨が降り続けると低い場所へと雨水が流れ込み、内水氾濫につながります。

土砂災害情報の個別配信システムをご利用ください!

市では「土砂災害警戒区域等」に指定された地域に居住する方を対象に、土砂災害の避難情報を個別にメールやファクス、固定電話(自動音声通話)などでお知らせするシステムを運用しています。

簡単に利用することができ、いざという時に大変役立つものです。市から登録案内が届いた方で、未登録の方はこの機会にぜひ登録してください!

※携帯電話等をお持ちの方は、屋外にいても情報が受け取れるメールでのご登録をお勧めしています。

※高齢者の方など、システムの登録が困難な場合は、家族などが本人の代わりに登録していただくなど、ご協力をお願いします。

システムでは、次の情報が配信されます

①避難情報(市が発令した避難指示等のお知らせ)

- 警戒レベル3 高齢者等避難
- 警戒レベル4 避難指示
- 警戒レベル5 緊急安全確保 のいずれか

②避難所開設情報(開設の避難所をお知らせ)

●ご利用上の注意

- ご利用には申し込みが必要です。
- ▶右記QRコードからお申し込みください。



メール



22(令和4)年度釧路市防災総合訓練を実施します!

下記の日程とおり釧路市防災総合訓練を実施します。

日時 9月29日(木) 午後1時~4時

場所 東港区耐震旅客船ターミナル

【訓練内容】

大規模な地震・津波災害の発生を想定し、52の防災機関が参加する防災総合訓練を実施しますので、市民の皆さんのご参加をお待ちしています。

また、訓練中は参加する航空機や船舶、車両等の走行音につきまして、ご理解ご協力をお願いします。



北海道シェイクアウト2022に参加しましょう

北海道では、9月1日(木)午前10時から、今年で11回目となる日本海溝・千島海溝沿いにおける最大クラスの地震などを想定した防災訓練「北海道シェイクアウト」を実施します。

北海道シェイクアウトは、防災の日地域住民等との連携した訓練を実施し、地域における防災対策の強化を図ることを目的として行われます。

ぜひ北海道シェイクアウトにご参加ください。

〈訓練内容〉 訓練の時間になりましたら、その場でおおむね1分程度 ①Drop(まず低く)

②Cover(頭を守り) ③Hold on(動かない) という基本行動(安全行動の①

②③)を実施してください。なお、9月1日(木)の前後2週間以内に訓練を実施いただける場合、ホームページで参加登録が可能です。



最大クラスの津波浸水立体画像をご活用ください

釧路市の津波による浸水リスクを視覚的にわかりやすく伝えるため、「Google Earth(グーグルアース)」上にある実際の建造物のデータに「基準水位」を重ねた「津波浸水立体画像」を公開しています。

津波から身を守るためには、早期避難が大切です。市ホームページから、ご希望の地区データをダウンロードすると閲覧ができますので、お住いの地域や職場、学校などの状況を確認し、日ごろから災害に備えましょう!

※スマートフォンやタブレットからも閲覧することは可能です。

「最大クラスの津波浸水立体画像」ページへは右記のQRコードを読み取るか、下のキーワードをインターネットで検索してください!



釧路市 津波災害

検索